

# 網走市議会だより

第123号 (令和8年5月)

今号は...

## 特集 令和8年度当初予算について

(一般会計) **275億5,556万円に決定!**

市民一人あたりの予算はこちらになります。

※令和8年1月末時点の人口 31,420人で算出

民生費・衛生費

292,586円



商工費・労働費・  
農林水産業費

134,710円



BANK

公債費・その他

139,157円



市役所

総務費

109,163円



土木費

120,268円



教育費

81,121円



市民一人あたり

**87万7千円**

※ 4ページに詳細な記事があります。

※ 表紙裏に議員注目事業を掲載しています。

発行／網走市議会

編集／網走市議会広報委員会

網走市議会では、議会だよりについての  
みなさまからのご意見を随時募集しています。



# 3月定例会トピックス

## 日 程

3月 3日	市政執行方針・教育執行方針等
3月 5日～ 6日	総務経済委員会・文教民生委員会
3月10日	付託議案議決・決議（議場の国旗掲揚／議員辞職勧告） 代表質問① 5～6ページ
3月11日	代表質問② 7ページ
3月12日～19日	令和8年度当初予算等審査特別委員会
3月23日	文教民生委員会（追加議案）・付託議案審査結果報告

網走市議会第1回定例会は、3月3日から23日までの会期で開催されました。初日に、市長より市政執行方針、教育長より教育行政執行方針が示され、新年度各会計予算案が提案。また、令和7年度補正予算案等が提案され、各常任委員会に付託、審査を行い、10日の本会議で原案通り可決されました。

また、10日の本会議では古都宣裕議員に対する辞職勧告決議案の提出（4頁参照）、斜網地区廃棄物処理組合議員の選挙、議場における国旗及び市旗の掲揚に関する決議が行われました。

その後、2日間にわたり市政執行方針などに対しての各党派による代表質問が行われ、市長、教育長が答弁しました。（5～7頁参照）

代表質問終了後、令和8年度予算を審査するため予算等審査特別委員会を設置し、12日から19日まで

### 第1回定例会概要（3月3日～3月23日）

審査を行いました。定例会最終日の23日、委員長からの予算の審査結果についての報告のあと、村椿議員（共産）、古都議員からそれぞれ反対討論が、賛成会派及び議員を代表して里見議員（希政）から附帯意見をつけて賛成討論が行われました。

同日補正予算の追加議案が提案され、文教民生委員会において審査が行われ、全会一致の賛成により可決されました。

### 討論の様子



本議会は、市民の負託を受け、市政の重要事項を審議し意思決定を行う合議機関である。議場は、市民に開かれた討議の場であり、本市の自治を象徴する公共空間である。

国旗は我が国の象徴として広く認識され、市旗は本市の歴史と文化を表す。議場に両旗を掲げることは、本市議会が日本国の法制度のもとに置かれる地方公共団体であることと、網走市の自治を担う議会であることを、中立的に示すための表示の整備であります。

よって、網走市議会は、次のとおり決議する。

- 1 議場に国旗及び市旗を掲揚する。
- 2 本決議は、思想・信条の表明や、いかなる所作の強制も目的としない。起立・唱和その他の行為を求めるものではない。
- 3 実施時期については準備が整い次第とする。

以上、決議する。

### 網走市議会議場における国旗及び市旗の掲揚に関する決議

# 令和8年3月定例会/1月臨時会議案審査結果

## 第8回第1回臨時会の議決結果について（1月15日）

### ○全議員が可決・承認した議案

議案第1号 令和7年度網走市一般会計補正予算	議案第3号 潮見市営住宅B棟建設建築主体工事（2工区）請負契約の一部変更について
議案第2号 潮見市営住宅B棟建設建築主体工事（1工区）請負契約の一部変更について	

## 令和8年第1回定例会の議決結果について（3月3日～3月23日）

議案と議決結果  (○:賛成 ×:反対) ※議長は、議決に加わりません。	研政会		公明クラブ		進	同志会		希政会		無会派				
	井戸達也	立崎聡一	古田純也	澤谷淳子	永本浩子	村椿敏章	小田部照	栗田政男	石垣直樹	里見哲也	金兵智則	深津晴江	平賀貴幸	山田庫司郎

### ○議員別議案賛否一覧表（賛否の分かれた議案）

議案第1号 令和8年度網走市一般会計予算	○	○	○	-	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第3号 令和8年度網走市国民健康保健特別会計予算	○	○	○	-	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号 令和8年度網走市網走港整備特別会計予算	○	○	○	-	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号 令和8年度網走市介護保険特別会計予算	○	○	○	-	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号 令和8年度網走市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	-	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
決議案第1号 網走市議会議場における国旗及び市旗の掲揚に関する決議（令和7年12月議会提案）	○	○	○	-	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○
決議案第1号 古都宣裕議員に対する辞職勧告決議	○	○	○	-	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	-

### ○全議員が賛成した議案

議案第2号 令和8年度網走市市有財産特別会計予算	議案第18号 令和7年度網走市後期高齢者医療特別会計補正予算
議案第5号 令和8年度網走市能取漁港整備特別会計予算	議案第19号 令和7年度網走市下水道事業会計補正予算
議案第8号 令和8年度網走市水道事業会計予算	議案第20号 令和7年度網走市簡易水道事業会計補正予算
議案第9号 令和8年度網走市簡易水道事業会計補正予算	議案第21号 令和7年度網走市下水道事業会計補正予算
議案第10号 令和8年度網走市下水道事業会計予算	議案第22号 網走市職員の任免及び服務に関する条例等の一部を改正する条例制定について
議案第11号 網走市介護保険条例の一部を改正する条例制定について	議案第23号 網走市子ども発達支援センター条例の一部を改正する条例制定について
議案第12号 網走市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	議案第24号 網走市行政手続条例の一部を改正する条例制定について
議案第13号 網走市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例制定について	議案第25号 国営畑地かんがい事業斜網地域維持管理協議会規約の変更について
議案第14号 令和7年度網走市一般会計補正予算	議案第26号 令和7年度網走市一般会計補正予算
議案第15号 令和7年度網走市国民健康保険特別会計補正予算	諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について
議案第16号 令和7年度網走市網走港整備特別会計補正予算	意見書案第1号 高額療養費制度の負担上限額引き上げの撤回を求める意見書について
議案第17号 令和7年度網走市介護保険特別会計補正予算	

令和8年度第1回定例会において提案されました、令和8年度予算等を審査するため、議長と欠席議員を除く14名の議員による「令和8年度予算等審査特別委員会」が設置され、立崎聡一議員が委員長に、栗田政男議員が副委員長に選任されました。

令和8年3月12日から実質6日間にわたり、各委員による活発な質疑を通し、予算費目ごとに詳細なる審査を行いました。その結果、予算関連議案の一部に反対の意向を示す委員もおりましたが（2・3ページ参照）、大方の委員の意向として、下記の通り4項目の附帯意見を付して原案の通り可決すべきものと決定いたしました。



### 令和8年度予算等に関する附帯意見

- 1 事業実施に関しては、事業効果の検証や実態把握をこれまで以上に行うとともに、公平性の確保を念頭に実施すること。
- 2 財政については、人口減少や今後行われる大型事業の状況把握など中期的な財政収支を見通しながら、重要な財源である「ふるさと納税」の確保・増額に向けた取り組みに注力すること。
- 3 学校再編・運動公園再編については、子供達や市民の未来を主眼に据えた議論を行うとともに、説明、情報提供に関しては丁寧に行うこと。
- 4 市内にある高等学校への支援については、公平性の確保を念頭に、高等学校存続に向けて協議・検討を行うこと。

網走市議会 古都宣裕議員は、先の衆議院議員選挙において、公職選挙法に抵触する「二重投票未遂」の疑いが報じられ、選挙の公正性を著しく損なう重大な問題として市民の強い不信と憤りを招いている。

選挙は民主主義の根幹を成す制度であり、その公正を守るべき立場にある市議会議員が、このような懸念を持たれる事態を招いたことは極めて重大であり、市民の負託を受ける公職者として到底看過できるものではない。

今回の事案により、市議会に対する市民の信頼は著しく損なわれ、議会の名誉と品位は深刻に傷つけられた。議会としては、これまで再三にわたり本人に対し謝罪の意思を確認してきたが、現在に至るまでその意思は示されていない。このような対応は極めて遺憾であり、看過できない重大な問題である。その政治的・道義的責任は極めて重く、もはや議員としての職責を果たし続けることは市民感情の上からも許されるものではない。

よって、網走市議会は、議会の信頼回復と民主主義の根幹である選挙制度の尊厳を守るため、古都宣裕議員に対し、自らの責任を明確にし、直ちに議員を辞職することを強く求めるものである。

以上、決議する。

# 代表質問

代表質問とは、毎年第1回定例会において、各会派から代表して1名の議員が、**市政執行方針、教育行政執行方針及び市政全般**にわたって行う質問のことをいいます。

3月10日、11日の2日間の定例会において5名の議員が代表質問を行いました。

5～7ページでは各会派の質問の一部を紹介します。

5P：研政会

6P：同志会、希政会

7P：公明クラブ、日本共産党議員団

Q：議員質疑

A：市長・教育長答弁

## 財政状況の見通しについて

A 新庁舎や市営住宅の建設、道路や公園の整備など市債残高は横ばいとなっているが、消防本部庁舎建替えや廃棄物・中間処理施設の整備等、市債残高が一次的に増加に転じることも見込んでいる。中期的な財政運営、財政の健全化、市民満足度の向上を図る。ハード事業は、国庫補助金の確保、交付税措置のある市債メニューの活用、総量の縮小等により、実質的な負担の軽減に努める。

## 旧庁舎跡地の方向性について

A 旧庁舎の跡地利用は、まちづくりに係る計画や都市機能誘導構想検討協議会から提言をいただき、網走開発建設部や税務署など国の施設が一つに集約する網走地方合同庁舎建設に向け、要望をおこなっている。今後も早期に国の合同庁舎建設地として決定いただけるよう、強く要望。

## 網走厚生病院の診療科の充実

A 札幌医科大学との協議により、令和8年度4月から常勤医師が配置。地域センター病院である網走厚生病院の整形外科診療の体制は充実が図られる。

## 観光振興政策の方向性について

A インバウンド観光客増加及び多様なツーリズムの取組、高付加価値化による観光消費額向上と関係人口創出、観光受入基盤強化と宿泊税を活用した持続可能な観光の推進、広域連携と最新技術を活用した情報発信力と分析力の強化を基に、宿泊施設の環境整備支援や体験観光の磨き上げ、閑散期の取組強化やタクシー配車アプリ導入支援、どこバスの増車・近隣観光スポットへの運行エリア拡大による二次交通の利便性向上、酒蔵建設を契機とし、酒を主軸とした誘客促進の観光施策を推進。

そのほか、地域福祉、都市基盤、生活安全、環境整備、産業振興、教育関連の質疑



他の質疑は  
ここから

### 市長の後継者について

Q 水谷市政4期15年が経過して4期目最後の予算編成になりました。5期目への挑戦は別として、後継者はどのように考えているのか。

A 市長は選挙で選ばれるものなので、後継者問題は考える必要はない。

### 市職員の退職について

Q 市職員の中途退職が増加していることに対する認識は。

A 今年度の退職者数は20名であり、退職の理由は転職や健康上の都合など多様である。

市として退職者の増は損失でもあることから、各種相談窓口の充実等の働きやすい職場環境づくりに努める。また採用試験を複数回実施するなど人員確保にも取り組む。

### 旧庁舎の活用について

Q 旧庁舎の跡地の活用はどのように考えているのか。場所的にはホテル建設が有効と考えるが。

A 都市機能誘導構想検討協議会から「旧庁舎の跡地には、国の出先期間が集まる合同庁舎を誘致すべきである。」と提言



他の質疑は  
ここから

をいただいた等の理由により、網走開発建設部や税務署等の国の施設を一つに集約する「網走地方合同庁舎」建設に向けて協議、要望を行っている。

### 公用車の管理について

Q 市の公用車の管理が杜撰(ずさん)な状況です。カーシェアや管理するセクションを作るなどの対策が必要と考えるが。

A 新庁舎の関係部署が保有する公用車数は53台となっており、そのうち10台は新庁舎移転を機に総務防災課で一元管理を行っている。

新年度から新庁舎周辺に公用車駐車を確保する予定であることから、一元管理の車両を増やし、稼働状況を精査しながら車両の削減等を目指している。

### 令和7年度の出生数、死亡数

Q まず初めに、令和6年度過去最大の減少幅となったわが国の人口であります。網走市における令和7年度の出生数、死亡者数について伺います。

A 人口動態についてであります。令和7年度出生数130人、死亡者数は518人で、388人の自然減となりました。

### 単一自治体の維持の限界について

Q 市政執行方針においては、「中長期的な人口減少を前提として生活基盤サービスにおいて、その維持のあり方を変革していかなければならない時を迎えています」とうたわれっておりますが、単一自治体における自治体維持の限界について、どのようにお考えか、また考えうる網走市の在り方お示しください。

A 地方では、人口減少の急速な進行により、地域医療や、地域公共交通の維持、確保が困難となり、地域経済の縮小は、雇用の縮小と若者の流出を生み、財政悪化、人材不足、公施設・インフラの老朽化といった、負のスパイラルに陥る可能性が指摘されています。



他の質疑は  
ここから

近隣町との情報共有に務め課題を共有し、広域連携の深化を模索しながら、DXによる事務効率の推進、公共施設やインフラのダウンサイジングといった最適化を目指してまいります。

### 財政状況と市政運営について

Q 当市の財政状況について伺います。財政指数は改善基調にあります。しかしながら人件費、物価高による管理コストの増加、公共施設、インフラの老朽化対策、コスト増大は避けては通れない。

A 令和7年度から令和11年度までの中期財政・収支見通しでは、期間中約27億円の収支不足が見込まれたため、これを念頭に予算編成にあたり、事業の見直し、事業の精査、基金の活用により収支の改善を図った。

## 財政について

Q 新庁舎に続き消防本部建設も始まる。公債費負担の見通しと財政健全化に向けた見解は。

A 市債のピークであった平成19年からは、将来負担比率は116.6%、実質費比率も3.6%改善している。財政の健全化に取り組みつつも必要な老朽化対策を行ってきた結果であり、中期財政収支見通しでも穏やかな改善基調となっている。

## 医療について

Q 医師不足解消の取り組みは。

A 新年度から網走厚生病院には整形外科、循環器科等に常勤医が増員、呼吸器科も検討中。

Q 5件目の開業医の詳細は。

A つくし3丁目に小児科が本年9月開業に向けて準備中。

## 「みんな食堂」について

Q 以前から、多世代交流型の「大人食堂」を提案してきた。

新規事業「みんな食堂」の内容は。

A 地域の皆さまやNPO等が主体となり各地域で食事を提供。多様な世代交流の場をしたい。



公明クラブ  
永本 浩子



他の質疑は  
ここから

## 防災について

Q 災害時には持病の薬を持参することが大切。周知・啓蒙を。

A 防災イベントや広報誌、SNS等を活用し定期的に周知する。

## 教育について

Q オーストラリアで16歳未満のSNSの利用が禁止された。

SNSの利点と欠点を子どもたち自身に考えさせる機会に。

A 情報活用能力の育成とともに他者との議論等を通して粘り強く思考する力を育てていく。

子どもたちが情報に振り回されず、主体的に判断し、力強く生きていけるよう全力を挙げて取り組んでいく。

※この他にも27項目の質問をしました。

会計年度任用職員の3年目の  
公募の規定をなくすべきでは

A 総務省・公務員課長通知で、再度の任用の上限回数撤廃されたが、これは例であり、取り扱いについては、各地方公共団体において適切に対応されたいとしている。当市は、学校給食調理員などは上限回数を撤廃する。申込件数が一定数ある一般事務などは雇用の場の確保などから撤廃しない。

## 間口除雪検討の協議会を

Q 汎用ショベルで間口除雪できるかを、事業者と市民と検討する協議会等をたちあげ、方策を見つけていただきたい。

A 安全な道路交通を確保するため、かき分け除雪し、間口は各家庭にお願いしている。

高齢者宅等の間口においては、高齢者等除雪サービス事業を是非活用いただきたい。

一方、高齢者等除雪サービス事業の担い手の確保が課題。新たな事業者や、新たな町内会などの参画について協議していきたい。

## 堆肥化がCO2削減

Q CO2排出量が2013年に比べて37%削減出来たのは、



日本共産党議員団  
村椿 敏章



他の質疑は  
ここから

生ごみの堆肥化だと思うが。

A CO2排出量削減の理由は、市の電気や燃料の使用料の抑制に加え、廃棄物の埋立処分によるもの。有機物(生ごみ)は、最終的にはCO2と水に分解され、無機物となるので、堆肥化によるCO2削減とはいえない。ごみの排出量の減少によるものだ。

## 不登校の対策を

Q 「忙しすぎる学校」を改め、不登校を減らせないか。

A 学校のゆとりがないという点は、教育現場の課題の一面を捉えたものと認識。学校本来の遊びや余白の減少は、教室の空気を窮屈にし、子どもたちのSOSを見逃す一因となり得る。一方、不登校の要因は極めて複雑かつ多様化している、学校のゆとりを取り戻すだけでは解決しきれない。

# 議員が注目した事業



## 宿泊税関係

歳入 6,846万円

### ○事業概要

令和8年度から網走市では宿泊税を徴収します。その税金収入を6,846万円と見込んでおり、「酒蔵ツーリズム推進事業」「体験型観光推進事業補助金」等の観光に関する13事業において活用。



## 医療関係

事業費 9,810万円

※一部抜粋

### ○事業概要

小児医療等の安定的な診療体制を確保するため、公的病院への運営支援。また、新たに診療所を開設する方に対し、開業費用の一部を助成。 ※令和8年度には小児科の新規開業を予定しています。

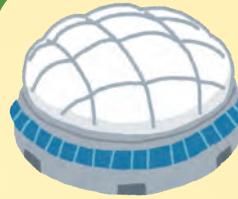


## 未来育む学校 再編推進事業

事業費 1,250万円

### ○事業概要

将来的な学校の適正規模・適正配置を見据え、基本計画の策定を進める。議会では、地域からの統合に関する不安の声について触れ、市教委からは次年度から事務を執り進めると答弁。



## 屋内運動施設 基本計画策定事業

事業費 800万円

### ○事業概要

屋内運動施設に求める機能・規模等の要素を整理し、施設の再編・整備に向けて基本計画策定に取り組む。  
※オホーツクドーム・すぱーく網走等



## 生活支援体制 整備事業

事業費 1,031万円

### ○事業概要

地域と連携し、高齢者の支援体制の充実を図るとともに、新たに子どもから高齢者まで誰もが利用できる「みんな食堂」の開設に取り組む。

## お知らせ

次の定例会は6月16日(火)から開催予定です。

ボランティア団体「声の図書館そよかぜ」様より音訳したCDを無償で配布しております。

ご希望の方は網走市議会事務局(TEL 44-3326)までご連絡ください。

UD FONT

本紙は、見やすさや読みやすさを配慮したユニバーサルフォントを採用しています。